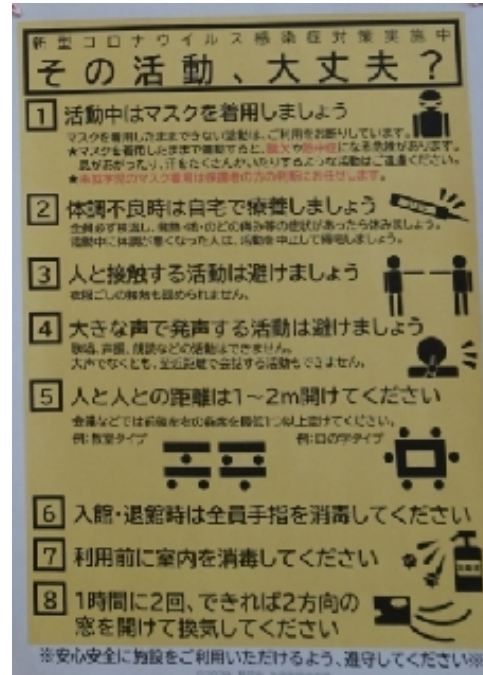




不二見生涯学習交流館



新型コロナウイルス対策

ディスコンというニュースポーツがあることは、ディスコンの役員やインストラクターをしている知人が数人いる関係で十数年前から知っていました。その知人の一人に取材したい旨頼んであったのですが、この2～3か月新型コロナウイルス禍で休止状態でした。ようやく、このほど再開したという連絡を受けて取材に行ってきました。

取材をした不二見生涯学習交流館は静岡市清水区にあり、図書館や教室などが併設されていて、多目的な活動を目的に建てられています。当所では、第1と第3の月曜日に月2回実施することになっています。ところが、今年は新型コロナウイルスの影響があって3か月ほど休止していて、今年度は今月（令和2年7月）から再開しています。

再開後も、利用者にはさまざまな形の新型コロナウイルス対策が課されています。具体的には、参加者は事前に検温が義務付けされていて、取材の私にも要請がありました。入館時には必ずマスクの着用が義務付けされていて、プレー中のハイタッチや歓声は禁止とのことでした。ゲーム終了後の清掃作業の後、ドアノブなど頻りに人の手で触れるような箇所についてはアルコールで消毒作業をしていました。



ディスコンの道具



ディスコン得点表など

ディスコンは岡山県が発祥の地ということもあってか、日本ディスコン協会の本部は岡山市にあります。静岡県ディスコン協会は静岡市葵区本通にあります。

ルールは赤組と青組の2チームに分かれて、1チーム6枚の円盤(ディスク)を投げ、どちらがポイントに近づいているかを競う簡単なスポーツとのことでした。しかし、実際やらせていただきましたが、いつもゲームをしている方々には思うようにいきませんでした。赤組と青組のふたてに分かれて競いますが、個人戦と団体戦があり、団体は最大人数6人までになります。今回は私を含めて12名でしたがスペースに余裕がありますので、2か所に分かれてゲームをしました。

年齢や性別に関係なく身体に負担の少ないスポーツだけにシニアには向いていると考えます。運動場や広場のような屋外でもできますが、場所をあまりとらない安全なスポーツということもあって、今回のように体育館など屋内でする場合が多いようです。



[2カ所に分かれてゲーム開始](#)



[赤組と青組に別れてゲーム](#)

ニュースポーツのディスコンを楽しんでいる光景です。

7月20日はインストラクター2名と一般会員9名、男女別には女性9名と男性2名でした。毎回メンバーは多少入れ替わることはあっても、おおよそこの程度の人数で毎回ゲームをしているそうです。時間はいつも直前に準備をして、午前9時30分から午前11時30分までの2時間程度だそうです。

軽スポーツではありますが、結構歩きますので身体を動かす機会の少ない方にはいい運動になるようです。参加された男性の一人はびっしょり汗をかいてゲームに興じておられました。中には少し足の不自由な方がおられて、普段はストックを所持されていましたが、ゲーム時はストックなしで動いておられました。

2時間ほどの間に、全員一斉に長めの休憩をとっていました。その時には、それぞれが持ち寄ったお菓子を分け合って食べながら話に花を咲かせていました。それ以外にも、適宜ティータイムをとりながら、のんびりゲームを楽しんでいました。

また、ストレス解消になり、健康にはいい機会になると感じました。このディスコンというスポーツの良さは、皆さん、例えば抱負のような意気込みや気張ったところがなく、気楽におやりになっているところがとても清々しく感じられました。参加者全員が和気あいあいプレーをしている姿が印象的でした。

取材：静岡地区担当 生きがい特派員 早川 和男